

Markdown CSS

4I14 黒江 遺産

2024年10月8日

Visual Studio Code の拡張機能「Markdown All in One」により Markdown から生成した HTML に対して適用するための CSS である。レポートの作成に使用することを想定している。



- [デモ](#)
- [インストール](#)
- [設定](#)
- [使用方法](#)
- [独自の要素](#)
- [置換](#)
- [注意](#)
- [記法](#)
- [例](#)
 - [数式](#)
 - [2カラム](#)
 - [画像](#)
 - [Mermaid](#)

デモ

- [Markdown](#)
- [HTML](#)
- [PDF](#)

インストール

- [Markdown All in One](#)
- [Markdown Preview Mermaid Support](#) (for Mermaid ダイアグラム)
- [Markdown Emoji](#) (for 絵文字)
- [Markdown Footnotes](#) (for 脚注)

設定

`Ctrl` + `,` により VSCode の設定を開き、拡張機能 Markdown All in One について次のように設定する。

```
{
  "markdown.extension.print.absoluteImgPath": false,
  "markdown.extension.print.includeVscodeStylesheets": false
}
```

使用方法

次のコードを Markdown の先頭に貼り付ける。

```
<link rel="stylesheet" href="https://cdn.jsdelivr.net/gh/kuroyei/Markdown-CSS/sindresorhus_github-markdown-
css_github-markdown-light.css">
<link rel="stylesheet" href="https://cdn.jsdelivr.net/gh/kuroyei/Markdown-CSS/style.css">

<style>
:root {
  /* 基本的なフォントファミリー */
  /* --font-base: ; */

  /* 等幅フォントファミリー */
  /* --font-code: ; */

  /* コードブロックのフォントサイズ */
  /* --font-size-codeblock: ; */
}
</style>
```

① Note

自身でフォント等を変更したい場合は `<style>` を編集する。

独自の要素

- 文書名・著者名・日付

```
<h1 id="title">
Markdown でレポートを書こう
</h1>
<address id="author">
<span class="mono">4I14</span> &emsp; 黒江 遺産
</address>
<time id="date">
```

2024年10月8日

</time>

- 等幅フォントで表示

`class="mono"` を指定する.

- 2カラム

```
<div class="column-wrapper">
<div class="column-left">
```

左側のコンテンツ

```
</div>
<div class="column-right">
```

右側のコンテンツ

```
</div>
</div>
```

- 途中で改ページさせない

```
<div class="avoid-break">
```

印刷時に改ページさせたくないコンテンツ

```
</div>
```

- その場で改ページする

```
<div class="break-after"></div>
```

置換

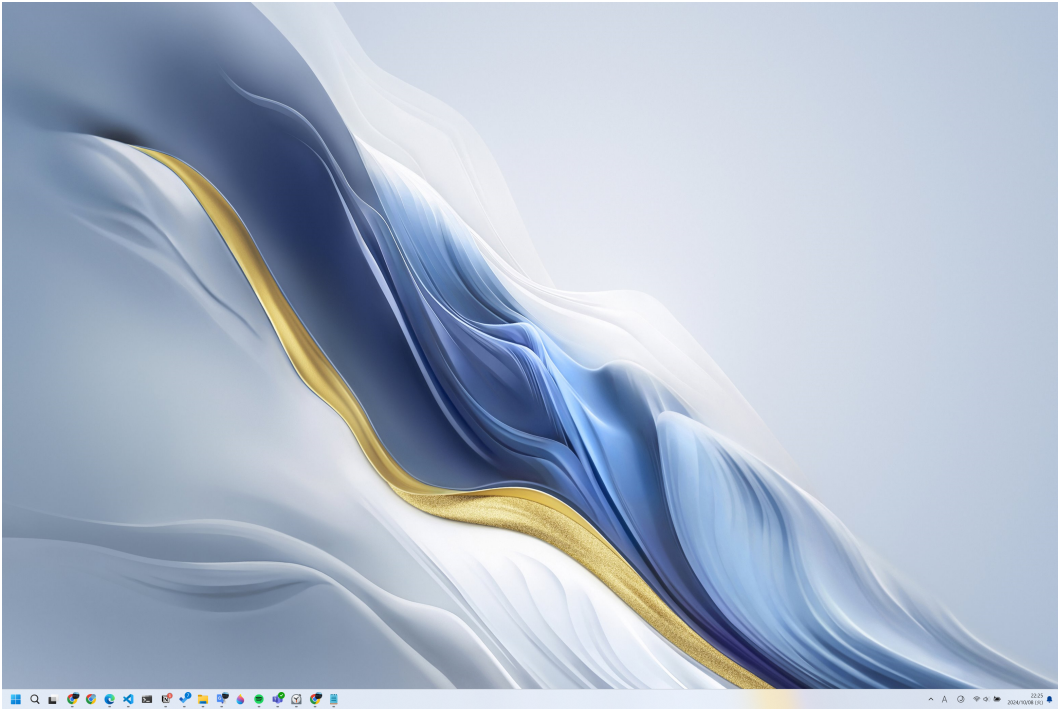
Note

[`.*`] は正規表現を用いることを意味する.

- 画像

画像の幅を調整できるようにする. また、画像の下にキャプションが表示されるようにする.

画像



ばそばそ

Mermaid

くろえいさん 🍀 はいつも次のような流れでレポートを執筆しています.

